

上宮寺通信

第二十一号

できることをする

なかなか終息の兆しが見えない新型コロナウイルス。日本全国に緊急事態宣言が出され、日常生活に大きな影響を及ぼしています。不要不急の外出を控えるように要請され、皆さんも家にいる機会が多くなったと思います。

いまは新緑のまぶしい一番良い季節、外に出かけるのが気持ち良い時期です。その心を抑えてじっと家にいるのは本当に辛いものです。終わりが見えない、この先どうなっていくのか、不安ばかりが募ります。

毎日、各地の感染状況が伝えられ、自分の周りにも確実に感

染は広がってきている感じがします。しかし、そういう報道を見ていても、どこか他人事と思ってしまう心があります。ウイルスに罹らない根拠など何もないのですが、自分だけは大丈夫だろうと思う心。これは「正常性バイアス※」と言われるそうです。

また、逆に過敏に反応する心もあります。目の前で咳をされるとイライラしますし、テレビで外出自粛を守らないで遊んでいる人が放映されると、こういう無神経な人が感染を広げるとだとテレビに向かって怒りたくなってきました。

先ほどの自分は大丈夫という心と、心配で仕方ないという心、どちらも不安からくる心の揺らぎなのでしよう。

昔から伝染病が蔓延することはたびたびありました。

本願寺八代の蓮如上人が生きられた時代(一四〇〇年代後半)にもひどい疫病が発生しました。いまよりも医学が発達していない時代、多くの人が亡くなり、社会はとても動揺したことでしょう。

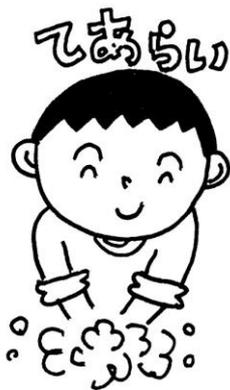
しかし、蓮如上人は門徒宛ての手紙である『御文』(第四帖第九通)に、「近頃、多くの人が伝染病で亡くなっています。でも、これは決して伝染病によつてはじめて死ぬのではなく、生ある者は必ず死ぬ、そのように定まっているからなのです。さほど驚くべきことではないのです」と記されました。

一見、冷たく感じられる文面

ですが、これは「事実を見よ」ということです。不安にかられて動揺するのではなく、事実をしつかりと見つめて、できることをせよということだと受け取れます。

いまは皆がたいへんな時期ですが、いま居る場で事実を見つめ、できることをする。力を合わせて何とかこの困難を乗り越えていきましょう。

※正常性バイアス：危険が迫った時に自分にとって都合の悪い情報を遮断し、楽観的になる心理状態



◆行事案内

上宮寺の行事

上宮寺講につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大の懸念により、落ち着くまで休止とさせていただきます。

また、先般よりご案内させていただいていました信州方面へのバス旅行も今回は中止とさせていただきます。楽しみにされていた方には本当に申し訳ありません。

◆話題あれこれ

○国からマスクが2枚支給されるようですが、いつごろ届くのでしょうか。いまだに本店ではなかなかマスクを買うことができません。でも、ありがたいことにお参りにうかがって手作りマスクをいただくことがありません。大切に使用させていただきます。

○本堂に上がるための外階段の防水塗装工事を5月中に行います。工事中は階段が使用できなくなります。本堂にお参りされる方にはご迷惑をおかけしますが、中から本堂へあがることができますので、お声をおかけください。

○ちよつと先の話ですが、10月に毎年行っている雅楽の演奏会が今年は中止となりました。3密を避けるために集まって稽古ができないというのが大きな理由です。残念です。

○新型コロナウイルス感染予防には手洗いが大事です。手洗いをしっかりして、規則正しい生活をして免疫を高める生活を心がけましょう。

○家に閉じこもりがちになっていると思いますが、あまり動かないのも身体に毒です。3密を避けた早朝の散歩なんかはいかがでしょうか。

○仏事についてわからないことがあります。遠慮なくお寺にお尋ねください。

【雑感】

3月以降、寺関係の行事や会合などはほとんど中止となり、自由になる時間が多くなりました。かつて外に遊びに出かけるわけにもいかず、時間を持て余し気味になっています。そんな中、重宝しているのがネットでの映画鑑賞。もともと映画好きで、時間を見つけては映画館に行っていました。好きなジャンルはミステリー。それも少し怖めのもの。最近観たものでもおもしろい!と思ったのは「アイデンティティ」という2003年の作品。皆さんのおすすめの作品があったら、お参りに伺ったときにも教えてください。(住職記)

【発行】

真宗大谷派

上宮寺

昭和区白金一丁目十九番十五号

☎052-871-0547

